

かめやま教育通信

第34回



▲新図書館の外観イメージ



新しい図書館を創ろう！～新図書館の設計を進めています～

教育委員会では、亀山駅前に整備する新図書館について「学びの場からつながる場へ」という基本理念を掲げ、令和4年の完成を目指して設計を進めています。

1階には総合案内や市内の行事などの情報を集めた情報発信スペース、2階は児童書架を中心に配置した親子で過ごすスペース、3階は個別・グループ学習室、4階は吹き抜け空間に面した閲覧スペースを設けるなど、フロアの特性を生かした空間創りに取り組んでいます。

その中で今回は、2階の児童・親子書架エリアの現在の検討内容を紹介します。

「こんな場所があったらいいな!!」を形にする

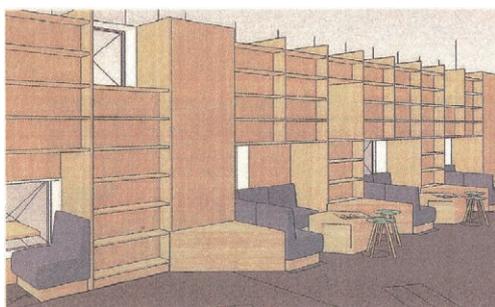
新図書館2階の児童・親子書架エリアには、本を通じて子どもと親がともに楽しむことができる空間を創ります。

親子で床に座って絵本を読んだり、ボランティアの皆さんによる読み聞かせを楽しんだりすることができるコーナーの設置を検討しています。



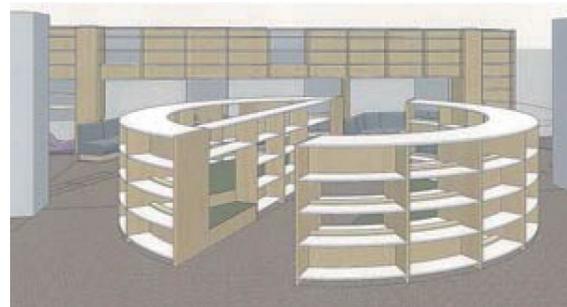
壁一面全体の大きな書架

壁一面の書架を設け、その一部にソファや机などを組み込むことを考えています。ここでは、ソファでの読み聞かせや親子で一緒に本を読むことができます。



亀山駅の転車台をイメージした円形書架

フロアには、円形の書架の配置を考えています。ここは単なる書架ではなく、子どもたちが隠れ家的にもぐりこんで読書を楽しむことができるような場所です。



そのほかにも、赤ちゃんが泣いたり、小さなお子さんがぐずったりしたときに、落ち着くまで過ごせる小部屋や授乳室、親子トイレなどの設置を検討しています。

今後の取り組み

今後は、絵本作家等を招いて本の楽しみ方や、図書館を核としたまちづくりなどをテーマにした市民ワークショップを開催し、市民の皆さんが、新図書館の開館に向けてワクワクしていただけるような取り組みを進めていきます。設計案とともに具体的な日程などをお知らせしていく予定ですので、ぜひ楽しみにしてください。

問合先 教育委員会生涯学習課社会教育グループ(☎84-5057)